

小・中学校の全学年で毎日、英語の授業を行います！

～外国人英語指導助手を3倍増し、使える英語を身につけます～

平成27年(2015年)3月4日(水)

箕面市では、自然に英語に親しみ使える英語を身につけるため、平成27年4月から全市立小・中学校の全学年で英語の授業を毎日実施します。国では、平成32年から小・中学校での英語教育の拡充強化等を検討しており、これを受け、国に先駆けて実施するものです。

英語教育の実施にあたっては、「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」を活用して、英語を母語とする外国人の英語指導助手を現在の7名から約3倍の20名に増員し、全小・中学校に配置するため、予算案を3月議会に提案しています。

小学校では、視聴覚教材や電子黒板を活用し、小学1・2年生は15分授業を週5日毎日行い、小学3年生以上は週4回15分授業と週1回45分授業をあわせて週5日毎日行います。

また、中学校では、現行の英語科の授業と新設する「英語コミュニケーション科」の授業をあわせて、50分授業を週5日毎日行います。

1. 平成27年度から実施する英語教育について

箕面市では、自然に英語に親しみ使える英語を身につけるため、平成27年4月から全市立小・中学校の全学年で英語の授業を毎日実施します。国では、平成32年から小学校での英語教育の拡充強化や中学校での英語教育の高度化を検討しており、これを受け、国に先駆けて実施するものです。

(1)学習時間と内容

小学校では、小学1・2年生は15分授業を週5日毎日行います。小学3年生以上は週4回15分授業と週1回45分授業をあわせて週5日毎日行います。視聴覚教材やDVD教材、電子黒板を有効に活用し、子どもたちが興味・関心を持ち楽しむことができる授業を行います。教員と英語指導助手により指導することによって、英語でのコミュニケーションにおける積極的な態度を養います。

また、中学校では、現行の英語科と、教育課程特例校制度を活用して新設する「英語コミュニケーション科」の授業をあわせて、50分授業を週5日毎日行います。新たに全学年で設置する「英語コミュニケーション科」の授業は、英語科教員と英語指導助手により、オールイングリッシュの授業や英語のスピーチ指導の授業などを行い、リスニング力やスピーキング力を高め、英語のコミュニケーション能力を伸ばします。

(学習時間)

	小学校 1・2年生	小学校 3・4年生	小学校 5・6年生	中学校 1・2・3年生
平成26年度 まで			45分授業を週1回	50分授業を週4回 (英語科)
平成27年度 から	15分授業を週5回	15分授業を週4回 45分授業を週1回	15分授業を週4回 45分授業を週1回	50分授業を週5回 (うち英語科週4回、英語コ ミュニケーション科週1回)

2. 英語教育の充実に向けて

以下の3つの事業について、予算案を3月議会に提案しています。

(1)英語指導助手の増員

英語教育の実施にあたっては、「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」を活用して、英語を母語とする外国人の英語指導助手を現在の7名から約3倍の20名に増員し、全小・中学校に配置します。

(2)英語教育支援員の配置

日本人の英語教育支援員を1名配置し、小学校の教員や英語指導助手による授業づくりの支援を行います。

(3)英語指導助手の生活支援

JETプログラムで来日する英語指導助手は、日本での生活経験がないことから英語指導助手の生活支援を(公財)箕面市国際交流協会に委託します。

※「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」は、自治体が総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)の協力の下に実施する事業で、海外の青年を招致し、小・中学校などで、外国語教育等に携わることにより、地域レベルでの国際化を推進することを目的とした事業です。

問い合わせ先

箕面市教育委員会事務局
子ども未来創造局 学校教育課
電話:072-724-6761 (直通)